

豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 部会での主な意見

平成 29 年 7 月 24 日（月）に豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 部会を開催しました。そこでの主な意見は以下のとおりです。

○出産子育て・教育関連

- ・「豊橋市に住み結婚・子育てをすると圧倒的に有益」だというイメージ付けをする必要がある。
- ・豊橋市の子育て関連の取組みを学生にアピールする機会があってもいい。
- ・全国で見ても田舎の方が一人の女性が産む子供の数が多い傾向がある。田舎は食費や住宅費等の生活費の負担が少ない。経済面で言えば、生活費の負担を少なくできれば、子どもを育てやすい環境ができていく。

○若者の定着関連

- ・学生が就職先を選ぶ要因として、親の影響が大きく安定を求める。学生が自分で考えて判断する機会をつくるのが大切。
- ・卒業後豊橋市に戻ってきたい人もいると思うが、働くところがないので東京や大阪に就職してそのまま戻らない。もっと仕事を作ればもっと戻ってくる。
- ・チャレンジなことができる雰囲気の中企業がたくさんあることを伝えたい。
- ・市の取組みや社長自ら地元企業の魅力を伝えるような機会を授業の一環としてつくりたい。
- ・技科大は全国から人が集まるが、卒業後は全国に散っていく、愛大もある程度は残るが、やはり出て行ってしまう。地元には良い企業がたくさんあるので、それをうまくピックアップして学生と企業とのマッチングができるといい。
- ・大学のパンフレットを見ると、大手企業や東京の企業に就職しました、という例ばかり書いてある。地方で自分がどれだけ自己実現できているか、というページを行政が中小企業等にインタビューをして記事をのせたらどうか。
- ・一人暮らしを支援する施策があってもいいのではないか。

○プロモーション関連

- ・豊橋市は「どんな街」と言われたときに、「こんな街」と言えるインパクトがない。豊橋市のイメージアップが大切。
- ・探せば豊橋市には良いものがたくさんある。もっとアピールしていったらどうか。
- ・浜松市のように、もう少し大げさに発信してもいいのではないか。

○その他

- ・数値には表れない市職員等の頑張りも踏まえて評価して欲しい。
- ・新幹線が停まる豊橋は東三河のゲートウェイであり、広域連携として豊橋駅へのアクセス性を考えていく必要がある。
- ・リニアができると在来新幹線のひかりやこだまの利用方法が変わってくる。新幹線の増発や豊橋駅の利便性の向上を検討していくべき。